



英語の本の選び方

年に2回お配りしているレポートカードでもよく記載しているので既にご存知の方も多いでしょうが、当校は子どもたちがレッスン以外の場所でも英語に触れることを推奨しています。ある程度の年齢の子どもたちは、好みに合う本や教材を自分で選べることが多いと思います。一方で小さな子どもを持つ保護者の方(特に英語にあまり馴染みのない方)は、どんなものが子どもの趣味やレベルに適しているのか悩ましく思うことがあるかもしれません。

ちょうどフォニックスを理解してきたくらいの子どもたちには、Leslie Patricelli著のBabyシリーズがおすすめです。頭の大きな可愛い赤ちゃんのイラストが目を引きます。例えばこのシリーズのYummy Yuckyなど、1ページに2、3個の単語しか登場しません。これなら新しい読者も気負う必要がありませんし、絵本に込められた複雑なコンセプトを説明するのが得意ではない親御さんにもぴったりです。

また、Eric Carleの本はどれを取っても小さなお子さんに向けていますね。The Very Hungry Caterpillarを始め、多くの作品が日本語や他の言語に翻訳されています。もしかしたら子どもたちはもう日本語版を読んだことがあるかもしれませんが、そうでなかったとしても、読み進める上で大した助けは必要ないでしょう。また、彼の作品の多くは本と一緒にオーディオCDも販売されています。忙しくて時間がなかったり、英語の発音に自信がなくて自分で読み聞かせをするのには抵抗があるという保護者の方は、こちらを利用するのも良いかもしれませんね。

もう一つおすすめなのがClifford, the Big Red Dogのシリーズです。実はこれは私のお気に入りでもあります。上記Eric Carleの著書のように、多くの子ども向けシリーズがCD付きで販売されています。

もう一段階上のものに取り組む準備ができた子どもたちには、Curious GeorgeやThe Magic School Bus、The Berenstain Bearsのシリーズなどいかがでしょうか?どれも素晴らしい作品ですが、読んでいく中でやや難解に感じられる部分があるかもしれませんので、ご家族の方も手助けの準備をしておいた方が良いでしょう。本に登場する単語全てを理解することは、そこまで重要ではありません。これは子どもたちが英語の本を読む際、特に最初の一冊目に取り組む時に念頭に置いてもらいたいと思います。分からない言葉に出会ったらイラストを見たり、前後の文脈から意味を推測してみましょう。

このアドバイスが皆さんのお役に立ったら幸いです。

ノア・ウィリアムズ



New Teacher!

新任講師につきまして

4月より新任講師を迎える予定となっております。詳細につきましては今後、ホームページや掲示板、Facebook等で紹介させていただきますので公開まで少々お待ち下さいませ。



Cafe Space!

カフェスペースのご利用につきまして

平日午後4時の時間帯を含めカフェスペースでもレッスンを開催しております。出入口側のエリアは待合室として開放しておりますが、隣のスペースでレッスンを行いますので、お静かにご利用下さい。ご不便をお掛けしますが、ご協力のほど何卒よろしくお願い致します。



School information!

スクールからのおねがい

キッズクラスの開始、終了前後のお時間帯はご送迎のお車で駐車場が混み合います。大変危険ですので、**駐車場でお子様を遊ばせることはなさいませんようお願い致します。**

またデッキにつきましても、思わぬお怪我に発展する危険がございますので、**デッキ内や階段付近で走り回ったり、柱に登ったりしないよう、くれぐれもご注意下さいませ。**

安全な環境作りのため、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。